

早めの撤去で災害に備えて

命を奪うことも

地震でブロック塀が倒れると、通行人にけがをさせるだけではなく、避難や救助活動の妨げにもなります。

このような被害を防ぐため、久留米市は、通学路や避難路などの道路に面し、倒れる恐れがあるブロック塀を取り壊す費用を助成します。

取り壊す前に申し込みを

助成の対象は、コンクリートブロック、レンガなどを積み上げた塀で、高さが1m以上のものです。傾いている、ひび割れがあるなど、ブロック塀の状態を市が確認して、地震で倒れる恐れがあると判定したものに限り助成は、次のうち低い方の12万円が上限です。

- ① 撤去費用の1/2
 - ② 撤去するブロック塀の長さ(m) × 1万円の1/2
- すでに取り壊したり、工事の契約をしているものは対象になりません。取り壊す前に、必ず申し込みをしてください。申し込みは6月3日(月)からです。
- ◎建築指導課 (☎0942・309089、FAX0942・309743)

市ホームページ
ブロック塀の
安全対策へ

QRコード



熊本地震で倒れたブロック塀 (防災システム研究所提供)



もっと知りたいを解決

フィールドワークも

久留米市は、協働のまちづくりを進めるため、出前講座を開催しています。生活の中で、疑問に思っていること、市政についてもっと知りたいことなど、皆さんの疑問を解決します。メニューは、福祉・教育・防犯など7分野109講座。市職員が、校区コミュニティセンターや公共施設の会議室などに、出向いて説明します。

新たな講座には、来年1月から始まる証明書のコンビニ交付やマイナンバーカードの作成方法の紹介があります。また、地



リーフレットは広聴・相談課や各総合支所でもらえます

域の川やため池で、水生生物などを観察する「出張！くるめ生きもの探検隊！」など、フィールドワークの講座も追加されました。

- ◎広聴・相談課 (☎0942・309015、FAX0942・309711)

市ホームページ
出前講座へ

QRコード




川に住んでいる生き物を解説

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事取材し、発信するシリーズです。

41 意外と知らない? 道の駅の役割 今回の記者: 久留米大学(3年)大塚麻美さん



直売館には、量も種類も豊富な久留米産の農産物が。新鮮で安心な物ばかり

国道210号沿いにある「道の駅くるめ」。大きな駐車場にお店やレストランなどがあるけど、どんな場所なんだろう。駅長の半田祐介さんに話を聞きました。

道の駅くるめは どういう施設ですか?

道の駅というところ、農産物の直売所と思われる人が多いですが、実は、国土交通省が認定した道路施設なんです。駐車場やトイレを整備した休憩所や交通情報などの提供、市と連携した地域活性化の役割があります。災害時の避難所としての役割もあるんですよ。

久留米は農業が盛んなので、市が農産物直売館を作り、野菜や手作りの加工食品などを販売。その他、地元の食材を使ったレストランで、久留米産の農産物をPRしています。

道の駅のお勧めの活用方法を教えてください

農産物直売館では、地元の農家さんが採れたての野菜を直接持ち込むので、とても新鮮です。店頭には並ぶ野菜は、すべて

特徴的な取り組みはありますか?

道の駅のホームページ「おとりのせくらめ」で、直売館で扱う旬の野菜や加工品などをインターネットで販売しています。今年から、通販サイトのアマゾンでも販売を開始しました。

防災施設としてどういう設備があるんですか?

情報休憩室は、交通情報をはじめ、耳納北麓地域の観光など、たくさん情報があります。

毛布や水、食料などを備蓄しています。



情報休憩室のディスプレイで天気や交通情報を確認

避難所として開放します。自家発電機があるので、停電になっても電気が使えます。その他、敷地内のマンホールに設置して直接下水道に流す災害時用のトイレもあります。



備蓄倉庫横にある自家発電機

今回の取材で道の駅くるめの役割や魅力を知ることができました。生産者の皆さんが愛情込めて作った農産物は、どれも新鮮でおいしそうな物ばかり。消費者の「安心」を第一に考えている生産者と道の駅の職員の皆さんの努力や工夫に感動です。それに、直売所としてだけでなく、情報を発信する場や避難所としての役割があることに驚きました。道の駅くるめの魅力をもっと多くの人に知ってもらえたらなと思います。

- ◎広報戦略課 (☎0942・309119、FAX0942・309702)